



第27号

発行
平成22年1月31日
編集責任者：後藤繁夫

年頭のごあいさつ

名古屋国税局 課税第二部長 早川 恵久



平成22年の年頭に当たり、桑名問税会の会員の皆様に、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

礼申し上げます。

新年を迎えられ貴会におかれましては、より一層会員の輪を広げられるとともに、魅力ある事業活動を通じて地域社会の発展に貢献されますことを期待しております。

特に、消費税につきましては、平成元年の導入以来、組織を挙げて定着推進運動を展開され、その円滑な定着に多大な貢献をされてこられました。

皆様のご支援を受けて、今や消費税は国のみならず、地方の財政を支える重要な柱に育つてまいりました。ここに、後藤会長をはじめ役員並びに会員の皆様の日ごろのご尽力に対しまして深く感謝申し上げます。

ところで、最近の税務行政を取り巻く環境は、我が国社会の少子・高齢化の進展や急速なグローバル化・IT化に伴う社会経済の変化という大きな流れに加え、内外の経済情勢が急激な変化を見せるなど、調査・徴収事務の複雑・困難化が更に加速しており、大変厳しい状況にあります。

このような状況下で、私どもに与えられた「内国税の適正・公平な賦課と徴収の実現」という任務を果たしていくためには、国民の皆様のご理解と信頼を得て行政を進めることを基本とし、悪質な納税者には厳正に対処する一方で、大多数の善良な納税者には親切・丁寧な納税サービスを提供していくことが重要だと考えております。

また、納税者の利便性の向上と行政運営の一層の効率

化・簡素化を図っていくため、国税電子申告・納税システム(e-Tax)の利用拡大、内部事務の一元化、税務相談体制の見直しなどの各種施策を積極的に推し進めております。特にe-Taxにつきましては、問税会の皆様積極的に利用していただき、普及・拡大にご協力いただいております。に、重ねて深く感謝申し上げます。

今後、e-Taxの普及・拡大は、私どもにおける当面の最重要課題と位置づけて、局・署を挙げて取り組んでまいり所存でありますので、税のオペニオンリーダーであります問税会の皆様より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が桑名問税会のみならず飛躍の年となりますよう、また、会員の皆様のご健勝並びに事業のご繁栄をお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございませう。

桑名税務署長 山口 育洋



平成22年の新春を迎え、桑名問税会会員の皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

問税会会員の皆様には、日ごろから会活動を通じ、税務行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎えられ、桑名問税会が魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に、より一層の貢献をされますことを期待しております。

昨年7月に桑名税務署長を拝命し、早いもので半年が経ちましたが、この間、役員の皆様をはじめ多くの会員の方々と親しく接する機会に恵まれ、その都度、貴重なご意見をいただきました。改めて問税会活動に対する皆様の熱意と姿勢を肌で感じる事ができ、大変心強く思っています。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は、少子・高齢化の進展や経済活動のグローバル化・IT化に伴う社会構造の変化により、調査・徴収事務は、複雑・困難化がさらに進行している状況に直面しています。

このような厳しい状況の中で、国の活動を支える蔵入確

保のため、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という税務行政の任務をしっかりと果たすことにより、納税者である皆様の負担に配慮していきたいと考えております。

具体的には、我々税務職員一人一人が高いモラルを維持し、法令に沿った適正な課税・徴収を行うとともに、悪質な脱税や滞納に対しては厳正な姿勢で臨む一方、善良な納税者に対しては親切・丁寧な対応をすることで税務行政の信頼感と公平感を保つことができるよう努力を重ねてまいります。

さらに、限られた定員・予算の下、ITの活用などを進めることにより、納税者の皆様の利便性の向上を図りつつ、より一層の事務の効率化を図っていく必要があることから、国税庁のホームページを通じた情報提供などITを活用した納税者サービスを充実させるとともに、昨年7月からすべての税務署で納税者の皆様の受付窓口を一本化するワンストップサービスを実施しております。

また、これまで各種会合等でお願ひしてきました「国税電子申告・納税システム(e-Tax)」の普及・拡大については、納税者の皆様の利便性の向上はもとより、事務の効率化のためには必要不可欠なものであることから、私ども国税庁の当面の最重要課題として掲げ、局署を挙げて取り組んでいるところであります。

桑名問税会の皆様方には、既にe-Taxの利用拡大に向け、様々なご協力をいただいているところではありますが、更なる利用拡大に向けまして、引き続きご協力をよろしくお願ひします。

これから税務署は1年の中で最も忙しくなる確定申告の時期を迎えます。

e-Taxを利用した確定申告の手続においては、医療費の領収書や給与所得の源泉徴収票など一定の第三者作成書類の提出を省略できることや本人の電子証明書等の添付を条件として、最高5千円の税額控除が適用されるなど、利便性がとても良くなっておりますので、会員の皆様方の更なる利用をお願ひするとともに、皆様方から社員の方々に、利用をお勧めいたしますよう重ねてお願ひ申し上げます。

最後になりますが、桑名問税会の更なる発展と、会員の皆様方のご健勝並びに事業のますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

企業見学税務研修会

平成21年3月13日～14日

小説で……

幽霊が団体で旅行に行つてまず温泉に入つて一言

「あゝ良い湯だ 生き返るな」

「ばか 死んでるよ」

それで 宴会になつて カラオケになつて楽しいひととき

の中、一言

「こんな 楽しいことは 生まれてはじめてだ」 「ばか

死んではじめてだろう」

さて、今回の二十周年記念企業見学税務研修会はまさに「良い湯で楽しい研修だった」。見学先企業は、福井の蔵元「久保田酒造」さん。例によつて銘酒の試飲。中には、ストーブで酒がすを焼いて食べる方々も……。ほろ酔い気分、あの名湯山代温泉「ゆのくに天祥」へ到着。まずひとつ風呂。そ



番街へ移動して様々なお土産を物色。帰りのバスの中、心地よい疲れとともに帰途についた。

して宴会で山海の珍味で舌鼓。二十周年実行委員長の青山理事の、趣向を凝らしたゲームとブレゼント交換会。その合間に18種類の湯に次々挑戦する方々。カラオケも大盛り上がりで夜は更けてゆく。翌日は、買い物。金沢百

全間連「税の標語」

全間連（全国間税会総連合会）の「税の標語」の募集は、平成5年度から実施されており、本年度平成21年度で17回目。桑名間税会ではことあるごとに標語の募集を続けておりました。そのかいあつて次の通り受賞いたしました。

中村 研 「国民の 安心支える 消費税」

伊藤佳津夫 「むずかしい そう考えずに e-Tax」

荻原美恵子 「熱き税金闇の中光をかざしてあげましょか？」

税を考える週間 街頭宣伝活動

平成21年11月16日



「税を考える週間」にあたり、桑名税務連絡協議会が主催する広報活動として毎年恒例になっている街頭宣伝が桑名市内の商業施設アピタで行われました。桑名間税会からは、後藤会長と辻内副会長が参加いたしました。

税連協・ボーリング大会

平成21年11月26日

税務連絡協議会主催の懇親ボーリング大会は、毎年11月末頃にある。今年もマイカルボールに 法人会・商工会 議所・税理士会・青色申告会・納税貯蓄組合などの精鋭各団体が集合した。

中にはこの会に参加するために、予選会を行つてエリートボーラーを選抜している団体もある。そんななか我が間税会も、全員一年ぶりのボーリング「ま

あ 参加賞でももらつていこう」と気楽な家業。ところがふたを開けてみたら佐藤輝幸（桑和機工）さんが個人優勝、水谷まなみ（ソシアルスナック）さんが3位、団体でも準優勝という快挙。



今年の確定申告はe-Taxにチャレンジ!

e-Tax(イータックス)とは、自宅やオフィスのパソコンからインターネットを利用して、申告や納税などをする仕組みです。

さらに便利に使いやすく 国税電子申告・納税システム **e-Tax**

添付書類の提出が必要ないの!

えっ もう還付金が戻ってきた!

最高5,000円の税額控除が受けられるんだ!

税務署へ行かなくていいんだ!

使って実感!

e-Taxで確定申告!

確定申告書を作成される方は「確定申告特集」をご覧ください。

詳しくはこちらを「クリック」

自宅からもネットで納税できる!

国税庁ホームページへは…… **国税庁** 検索